

【活用にあって】

熟語の成り立ちの学習は大切にしたいと思います。熟語の意味を類推する手立ての一つとなるからです。返り点などの漢文の授業への橋渡しにもなります。

「勸善懲悪」は、「勸（すす）める」「懲（こ）らす」と読めることで、意味をつかむことができます。「以心伝心」もそうです。「心を以（もつ）て心に伝う」と読めることで、意味把握が容易にできます。

学習のポイントは、訓読みすることにあります。これができるかどうかで意味把握ができるかどうかが決まります。漢字の学習で訓読みを重視することです。また、「削減」ならば、「削≡減」、「知人」ならば、「知→人」というように、「≡」「→」などの記号を付けることで、より一層理解が深まります。

解答例

問 1 :

問 2 : ① イ ② エ ③ ウ